

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	施設開所から5年近くが経過するなか、心身の重度化が進んでおり、今後の介護の方向性が課題となっている。最後までグループホームで見てほしいという家族からの要望と施設の方針は一致しているが看取りに向けた専門性が問われている。	看取りに関する専門性と精神面等の知識や技術の習得。および医療連携を行なっている訪問看護ステーションとの連携を深める	看取りに関する研修への職員の参加。および訪問看護ステーションとの勉強会を行なう。	12ヶ月
2	18	重度化に伴い、利用者のできる事が段々と減っているが、職員が利用者のありのままの姿をどう受け止め認知症が進行するなかでも「その人らしさ」を保っていけるかが課題である。	認知症に関する知識の更なる習得	認知症研修への参加を行なう。職員が自発的に参加できるよう事業所として支援する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。